

でんぱ塔



発行日 2017年6月14日
発行者 川崎市立中原中学校区
地域教育会議
事務局 川崎市中原区小杉陣屋町
1-24-1
電話 044-722-3396(内線16番)
月・水・金午前10時～午後4時

♡♡♡♡♡ 「ワクワク子どもトーク」 開かれる ♡♡♡♡♡

ワクワク子どもトーク(子ども会議)とは?

テーマにつき、子ども自身の意見を交換しまとめを作成・発表し、まちづくりや、地域の活性化につなげる目的でおこなわれています。

小学生の部

子どもたち自身の考えを見守り大切に育てていきましょう!

中学生の部

小小連携! 多摩川学習発表会

平成28年9月30日(金)西丸子小学校校体育館にてワクワク子どもトーク小学生の部が開催されました。

西丸子小学校と上丸子小学校の4年生を、25のグループに分け、多摩川の自然や歴史について、自分たちが興味あるポイントについて情報を収集し学習したことを発表し合い、両校生徒の学習結果についてディスカッションをし、最後にグループごとで多摩川のキャッチフレーズを考え、全員の前でキャッチフレーズを発表し合いました。

身近にある多摩川について考え、やがて一緒に迎える中学校生活でも親しい友人関係をきづけるような楽しい時間を過ごしました。

☆25グループのキャッチフレーズ

- ・自然豊かな 生き物がいっぱいの多摩川
- ・昔の魚がもどって 自然あふれる多摩川
- ・魚が好む すきとおる川 作ろうよ
- ・道しるべとなり 魚と自然が 多い多摩川
- ・多摩川の 生き物自然は 家族だよ
- ・大切にしよう 多摩川の自然と魚を
- ・かんきょうを大切に作り上げる多摩川
- ・生き物いっぱい キレイな多摩川
- ・魚の命がながれて 自然ゆたかな多摩川
- ・人々とともにどこまでもつづく大きな多摩川
- ・多摩川の魚、植物などの自然を守るために水をキレイにしよう!!
- ・今までのきたない多摩川とちがい、キレイな多摩川を守ろう
- ・よみがえった自ぜんが きれいな多ま川
- ・ゴミのない 生命あふれる みどり多い川
- ・生き物いっぱい ごみをへらす多摩川
- ・多摩川の 生き物の楽園をきれいに
- ・昔より きれいな多摩川 作りたい
- ・多摩川の 魚を守ろう 川のため
- ・ふっかつしてきれいな川になった多摩川
- ・命と自然と共に流れる多摩川
- ・自然生物いっぱいきれいな多摩川
- ・これからは 自然を守ろう ぼくたちで
- ・多ま川に いろいろな魚 きてほしい
- ・生命と 自然のみなもと 美しい
- ・今までのきたない多摩川とちがい、キレイな多摩川を守ろう



参加した児童の感想

- ① 学校はちがうけれど、多摩川を大切にしようとする気持ちは同じで、うれしかった。
- ② 知らないことが知れたり、自分の発表を聞いてもらったり、キャッチフレーズをいっしょに悩みながら作るのはたのしかったです。

見学した大人の感想

- ① 初めて知ることが多く、驚くことばかりでした。私が小学生のころの多摩川の写真は今は違う姿で、きれいな川に戻すにはかなりの努力が必要だったのだと思います。
- ② 初めて会う友達との発表会は緊張しながらも良い経験になったでしょう。

テーマ:「インターネットの使い方」

平成28年12月8日(木)中原中学校視聴覚室でワクワク子どもトーク中学生の部が開催されました。

話のきっかけとして、先生よりプリントが配布されました。これから使用を始めようと考えている方には良い指針となると思います。タイトルだけを示します。気をつけて利用しましょう。

I. ケータイ 8つのマナー

1. 「ながら」ケータイはしない
2. 深夜や早朝には電話をかけない
3. 使ってはいけない場所がある
4. 電源をオフにする場所がある
5. チェーンメールは無視する
6. メールの返事はあせらず待つ
7. お金がかかるので使いすぎない
8. ケータイでは写真をとってはいけないものがある



II.トラブルに遭わないために、遭った時の対処法

1. 知らない人(メールだけの知人)には直接会わない
2. 個人情報に絶対に明かさない(拡散防止は不可能です)
3. 人の悪口は言わない(いじめの原因や名誉棄損になる場合も)
4. お金は払わない(いつの間にか有料サイトに誘導されるなど)
5. (こまったら) 家族や先生に聞こう
6. (それでも解決しなければ) 警察や消費者センターに相談しよう

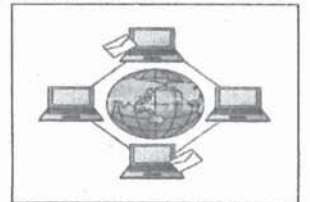
ワクワクトークでは、1年生と2年生の生徒27名が7グループに分かれて、活発に意見交換を行い、話し合いの結果を模造紙一枚にまとめて発表し合いました。

7グループの意見を以下にまとめてみました。

スマートフォンやパソコンでインターネットを使用する時!

I. 良いところ

- ・必要な情報を、詳しく・簡単に・速く受け取れる。さらに、世界中で情報を容易に共有できる
- ・ボタン1つで買い物ができる
- ・好きな画像や音楽が視聴できる



II. 悪いところ

- ・相手の顔・気持ちがわからないため誤解を生んでしまい、トラブルの原因になってしまうことがある
- ・情報源があいまいで、はっきりせず、情報の正確性がわからない
- ・他のサイトに飛ばされて勝手に登録されてしまう
- ・個人情報が流出してしまう
- ・視力の低下につながる

III. 普段どのように使っているか

- ・スマートフォンでLINEやメール
- ・パソコンで必要な情報検索

IV. 家庭での使用ルール

- ・夜10時以降は使用しない
- ・フィルタリングをする



◎◎◎ワクワクおとなトーク開かれる！！◎◎◎

平成29年2月9日(木)西丸子小学校体育館において、ワクワクおとなトークが行われました。

あいにくの天候で、雪が降りましたが、128名の方にお集まりいただきました。

今回は、皆さんの家族にとって非常に重要な課題です。

テーマは『「災害と避難所について」～あなたと家族の命を守るには～』で、講師は中原区役所 危機管理担当 松山和俊氏をお願いいたしました。

地震にまつわる情報を知っておくことは重要です。

日本は「地震国」と言われています。地震国と言われるゆえんは「世界で起こる地震の2割は日本で起きている」という事実からもうかがえます。

そこで心配になるのは大地震の発生ですが！

今後30年以内に関東圏で大きな地震(マグニチュード7以上)が起こる可能性は70%と予測されています。もし川崎市内で大地震が起きたらその被害はどんなふうに予測されているのでしょうか。

被害状況は次のように予測されています。

出火予想件数は⇒240件

負傷者の予想人数は⇒16,000人

これらに対処しなければなりません。が実情では十分な機材がそろっているわけではありません。

消防車は115台

救急車は27台

但し、被害予測に対応できる(であろう)台数を算出するのは非常に困難です。出火場所、負傷者のいる場所やそこへ行く経路が確保できるか、放水用の水の利用可能性は？病院までの所要時間は？など予測が困難なことが多いからです。



また、避難について、中原区の場合は次のように予測されます。

避難所への予想避難者数 65,000人

現在避難所28ヶ所で、平均すると、1ヶ所あたり約2,300人と予測されますが、現状では各備蓄倉庫には、米1,500食、毛布800枚程度が準備できているという状況です。

災害対策は、「自助」(自分で助けること)、「共助」(家族、企業、隣近所等で共に助け合うこと)、「公助」(行政による救助・支援)と言われます。市、区として「公助」に力を入れて行きますが、大規模災害に対応するには時間がかかります。まずは「自助」について知り、「できることから始めよう！」をお願いします。

自 助

災害時、3日間は自宅待機でも生活できるよう準備ください。

- ・ガラス飛散防止フィルム、家具・冷蔵庫の固定、空き扉のロックなど、身近な屋内の対策
- ・日用品の用意(簡易トイレ、カセットコンロ、寝袋、毛布、タオル、ティッシュ、など)

ル、ティッシュ、など)

・3日分の食料と水の備蓄

水・・・1人1日3ℓ 3日で9ℓ

食料・・・缶詰(缶切りも)、即席食品、チョコレート、など腐りにくいもの

非常持出品

被災時、避難や自宅で待機するとき

- ・携帯ラジオ、懐中電灯、電池
- ・衣類(防寒着、下着、上着)
- ・医薬品(常備薬、包帯、はさみ)
- ・貴重品(現金、通帳、保険証等)
- ・ビニール袋、雨具、簡易食器類、ウェットティッシュ

避難所の利用者とは？

- ・自宅が被災し生活できない場合
- ・自宅で何とか生活できるが、情報や物資などの支援がほしい場合に利用できます。

運営は自主防災組織(町会+学校)にゆだねられますが、混乱を避けるために事前にルールを決めておきます。場所の明確化、食料備蓄、ペットの取り扱いなど。危機管理課と相談して決めてください。

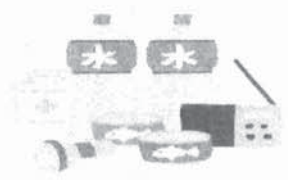
地域で減災

自宅待機の場合、近隣の人たちで助け合ってください。

- ・普段から顔の見える、助けて！と言える関係づくり
- ・地域の状況を知る
- ・学校に宿泊してみる
- ・家の水、電気、ガスを止めてみる
- ・避難所生活に必要な物は何かを確認する
- ・家族内での防災計画(集合場所、帰宅方法、連絡方法など)

講演を聞いた感想

- ・今後30年以内に直下型地震が来そうとは思いますが、それが明日という想定はできていない。
- ・準備を怠っていると思った。
- ・人口増加中の川崎市や中原区の体制・準備状況が知りたい！
- ・消防車、救急車、備蓄食料、備品の数など実際に災害が起きたら全く足りないということがわかりました。
- ・震災から身を守れたとしても、その後の生活が厳しいと感じました。3日分の備蓄品の用意がいかに大切わかりました。
- ・今までは、被災してもとりあえず何とかかなるだろうという安心感がありましたが、体育館での毛布の敷き方ひとつわからない、できないことだらけと気がきました。
- ・今日のような天候の真冬の体育館がとても寒いことがわかったので毛布、カイロ、帽子等の防寒対策も必要だと思った。



編集者：小杉・丸子地区のお話：奈良時代に創建された日枝神社の話から始め、家康の江戸入りに中原街道が使われたというところまで話を進めてきました。今回は最終回です。興味のある方に寺院めぐりをお勧めします。①瑠璃光山長壽院(中丸子498)は、法印覚源(1594年寂)が開山、法印覚源、頂慶(1624年)が中興した。本尊は弥陀立像。玉川八十八ヶ所霊場17番、川崎七福神の寿老神です。②日吉山大楽院(上丸子八幡町1522)の創建年代は不詳ですが、上丸子日枝神社の別当を務めていたようで古くに創建したと伝えられます。延宝7年(1679)に中興したといひます。本尊は大日坐像。玉川八十八ヶ所霊場18番、川崎七福神の恵比須天です。③恵日山成就院(小杉陣屋町1-32-1)は、法印尊秀(1662年寂)が創建か？本尊は大日坐像。玉川八十八ヶ所霊場19番です。意外と少ないですね！中原街道、府中県道まで足を延ばしてみましょう。④龍宿山西明寺(小杉御殿町1-906)は弘法大師が高弟素範上人に命じ堂宇を建立したとも、北条時頼が開基とも伝えられます。徳川將軍家の崇敬を受け、近隣に末寺20余ヶ寺を擁す大寺院だったようです。玉川八十八ヶ所霊場20番、川崎七福神の大黒天です。⑤春日山常楽寺(宮内4-12-14)は、聖武天皇の直願所として行基菩薩が創建したと伝えられています。通称、まんが寺。本尊は大日。玉川八十八ヶ所霊場26番です。⑥大栄山多聞寺(宮内1-11-1)の創建年代は不詳です。かつては多摩川寄りであったものの、洪水で被災し、当地へ移ったといひます。本尊は不動尊。玉川八十八ヶ所霊場27番、川崎七福神の毘沙門天です。



寺院の紹介はしきれません。キーワード「玉川八十八ヶ所霊場」または「川崎七福神」で容易に巡礼経路を検索可能です。お休みの日の運動と地域の歴史巡りに挑戦してみても如何でしょうか。(田中 記)